



[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

<https://lacadosokai.com>



## 目次

2 巻頭言：八方美人も悪くない  
久保 和巳(健康部会長)

3 新年会(大津支部主催)を開催

4 本部・支部行事報告と計画  
藤田 順一(支部長)

5 部会だより  
健康部会・文化部会・  
研修部会・地域活動部会

9 小学校支援活動および  
まちなか支援活動実績表

10 事務局だより (日程を含む)

11 知名度向上委員会だより／俳句

13 広報部取材

14 会員投稿

18 県社協だより

20 会員動向・編集後記



新年会：アヤハレクサイドホテル（2月7日）



平和堂石山での作品展示会  
(1月20月～22日)



びわ湖マラソン 2024 の運営にボランティア参加

\*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛への投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該原稿に関する用途以外には使用せず、適宜、適切に破棄します。原稿内容及び氏名、年齢、生年、地域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。





## 八方美人も悪くない

健康部会長 久保 和巳 (35期 園芸・日吉)

最近、1年があつと言う間だと思いませんか？ テレビでその理由を、年を取ると「ときめき」が無くなるからだと報道されていました。75才になり「ときめき」が有るかと言われれば答えに窮しますが、ありたいとの願望も少し、未練かも？

同じ年代の方でも、年上の方と思い年令を聞いてみたら年下の方、どうみてもおじいちゃん・おばあちゃんしか見えない年令以上に老けておられる方もおられビックリです。人生を楽しんでおられる方（なにかに夢中になられている方）は若いな～と痛感しています。

若く見える方は、一つの事に一途な方で、多数おられ、そのひたむきさと情熱には驚きます。テニス・卓球を趣味に週4回のペースで遊んでいますが、学生時代からされている方、テニスだけをされている方には、どんなに頑張っても太刀打ち出来ません。能力の差もあると思いますが、初めから取り組む姿勢の違いが結果にでるのだと思います。

が、なんでも手を出す薄っぺらい八方美人型の方も若く見えます。テニス・卓球以外にも何でも興味を持ち、入口程度でお茶を濁すのも悪くはないと思っています。プロを目指す訳でもなく、商売に繋げる訳でもないので、薄っぺらくても楽しければ充分と思っています。一番の収穫は「友達の輪」が広がる事です。

45才までは仕事以外は酒とマージャン・ごろ寝のみ。65才まではテニスのみを趣味に。退職後は、まずレイカディア大学に入り、友達にめぐり逢い、仲間の趣味の多さ・多彩さに刺激を受け、現在は、テニス・卓球・仏像彫刻（湖西地域の松井さんの指導を受け）・ぶどう栽培・イチジク栽培等を基本に、他にもいろいろ手を出しています。

今年はムクロジの実に興味を持ちました。羽根つきの羽根の下にある黒い実がムクロジの実です。湖西地域の一色さんの趣味を真似てみました。ムクロジの大木は、下阪本の磯成神社境内にあります。右上の写真です。ムクロジの実が10万個程度あるのではと思います。ちなみに、落ちたムクロジの実はやっかいものではないが、神社の当番の方が掃除されてゴミとして出しているそうです。実を拾いに行くと「是非持って帰ってください」と言われます。別の方が良く拾いに来られるとも言っていました（一色さんの事です）。右は湖西地域の福井さん作製のブレスレット・キーホルダー、右中は卓球仲間の権田さん作成の帽子飾りとネックレス、右下は久保作製の数珠です。趣味仲間がまた増えました。これからも新しい趣味と趣味仲間を増やして人生を楽しみたいと思っています。

別件ですが、幻の坂本城の石垣が発見されました。坂本城は安土城に次ぐ威容だったとされていますが、明智光秀謀反後に廃城になりました。湖畔に突き出た水域の陸地側の堀の石垣が発見され、改めて坂本城の大きさにビックリです。

2月中旬までは、役所の方が整理券を配り見学を許可した以外の方は通せんぼをしていましたが、今週からは見学が出来る様です。是非、坂本城の新発見の石垣を見にきてください。発掘ボランティアも面白いかな？



## 令和5年度新年会報告

実行委員長 杉山 明(35期・地域文化・瀬田)

令和6年2月7日に、琵琶湖におの浜アヤハレークサイドホテルにて大津支部恒例の新年会が開催されました。4年間新型コロナの影響により残念ながら開催が見送られてきましたが、ここにやっと開催が整い、長い間会員皆様が待ちこがれていた新年会の楽しい歓談と懇親の時を過ごすことが出来ました。出席者は67名の予定がコロナの影響により、急遽6名のキャンセルがあり最終61名の参加となりました。コロナの第5類の移行にやっと私達の周辺にも徐々に集まりの雰囲気が出てきましたが、前回4年前の86名の参加者には及びませんでした。

会場選びについては直近の値上げブームにより会費と会場のバランスに頭を悩ませ会場探しに一苦労しましたが、情報・紹介を通して事前に予想をキャッチして準備委員会8名のメンバーは内容、企画についてより楽しく、面白い新年会になるように吟味し決定しました。今年の会場は交通の便利がよく、予定より少ない乗車人数によりスムーズに送迎バスを運行出来ました。送迎バス乗車を大津京駅と石山駅の2ヶ所に設定し確保した事により定刻前に全員集合し受付終了後にロビーに並び若々しく、久しぶりにこやかな笑顔で集合写真に収まりました。

12時に全員が密接、密集のない広い「伊吹の間」で余裕をもって着席した後、本会実行委員長瀬田地域杉山明より開会宣言があり楽しい幕開けとなりました。続いて全員でスクリーンに打ち出された「レイカディア讃歌」を斉唱し開宴となり、最初に開会の挨拶を藤田順一支部長にお願いし、この「4年間長い間開催できなかったがここに盛大な幕開けとなりやっと開催でき感激です」との言葉に続き、乾杯の音頭を瀬田地域荒堀勝正監査役より力強い激励挨拶を頂き互いにグラスを交わしセレモニーは終了し楽しく和やかな会食、歓談に移っていきました。



後半においては恒例の「ビンゴゲーム」よりスタートし70個の参加賞として順位により獲得出来る景品が並べられました。本日は特に山口玄洞さんや幹事の方々より新鮮で盛り沢山の野菜の景品が準備され、大勢の人に持ち帰って頂き大感激でした。

ビンゴの後には本日メインイベントとして河村良一、中川幸子さんが考案されたビッグイベントが開始されました。「ジェスチャーゲーム、ストライクアウトゲーム」が地域対抗戦で競い会場は大いに盛り上がり大喝采でした。どこからこのような「エネルギー」が出てくるのでしょうか？ 景品もふんだんに用意されほぼ全員の競技者に行き渡りました。会場が広く余裕があり参加者全員が汗だくとなり時間の経過を忘れ大幅な延長になりました。今回は従来のお新年会とは違った内容になり、ここにもコロナによる影響の一端が見えました。



最後は恒例の「琵琶湖周航の歌」をスクリーンを見ながら全員が大きく元気な強い声で合唱しました。閉会の挨拶を河嶋文雄副支部長より頂き一本締めにより大いに盛り上がった新年会が終了しました。

最後にこの会に参加して頂き一段と盛り上げていただいた会員の皆様をはじめ事務局の皆様、準備委員、関係者の方々に重ねて厚く御礼申し上げます。この貴重な開催実績情報を次回の当番である湖西地域の皆様へ引継ぎ参考になればと思います。





支部長 藤田 順一（37期 園芸・志賀）

## 45期生地域体験学習の受入れ

2月16日（金）草津キャンパスにて45期生の地域活動ガイダンス説明に参加した。

大津市在住の45期在校生66名に、大津支部の地域活動事例を紹介し体験学習受入れを説明した。

3月2日（土）明日都にて、大津市社会福祉協議会主催の令和5年度ボランティアカフェ（ボランティア入門講座）レイカディア大学「地域活動体験学習」相談会に参加して説明した。両日合わせて、56名から体験学習の申込を受けた。

卒業後に同窓会加入の動機付けに繋がる様に、安全無事故で地域活動体験学習の受入れに協力をお願いする。



ボランティアカフェ  
3月2日（土）

## 第40回大津支部定期総会

◆日時：2024年4月18日（木）13時～15時（受付開始：12時30分～）

◆会場：滋賀県立長寿社会福祉センター大教室  
（滋賀県レイカディア大学草津キャンパス1階）

- ◎議案：
- 第1号議案 2023年事業報告
  - 第2号議案 2023年収支決算及び監査報告
  - 第3号議案 会則の一部改定
  - 第4号議案 役員の改選
  - 第5号議案 2024年度事業計画（案）
  - 第6号議案 2024年収支予算（案）
  - その他



昨年の大津支部定期総会  
（4月20日）

★同窓会年会費2000円（本部500円＋支部1500円）は、領収書と引換えに担当役員にお支払い下さい。

## 2024年度本部定期総会

●日時：2024年5月13日（月）13時～14時30分（受付開始：12時～）

●会場：滋賀県立長寿社会福祉センター大教室  
（滋賀県レイカディア大学草津キャンパス1階）

- ◎議案：
- 第1号議案 2023年度事業報告
  - 第2号議案 2023年度収支決算報告及び監査報告
  - 第3号議案 2024年度役員（案）
  - 第4号議案 2024年度事業（案）
  - 第5号議案 2024年度収支予算（案）
  - 第6号議案 会則改定（一部）

◎第二部 記念講演 市川忠稔学長様による「未来へと続く滋賀の福祉」

★支部定期総会及び本部定期総会への出欠は、配付文書に記入して担当役員に提出願います。

## 「健康部会」

～たのしく なかよく 元気よく！～

### 2023 年度の活動報告

2023 年度は、グラウンドゴルフ 2 回、ハイキング 2 回（内 1 回は研修部合同）、室内スポーツ大会 2 回の予定でしたが、室内スポーツ大会のみ会場が予約出来ず 1 回の実施でした。部会を代表しお詫び申し上げます。追加で「ピンポンで遊ぼうよ」を実施しました。

#### 第 1 回グラウンドゴルフ大会（4/3 帰帆島 32 名参加）

桜満開の帰帆島グラウンドゴルフ場で好天に恵まれ開催出来ました。各組 4 名の 8 組で 3 コース一斉スタート。ホールインワン・バーディーのナイスプレーと OB のため息も多数ありました。優勝は河村さん、2 位は門間さん、3 位は徳本さん



#### 第 2 回グラウンドゴルフ大会（10/2 帰帆島 4 支部合同で 39 名参加）

4 支部（大津・草津栗東・甲賀湖南・高島支部）の合同大会を初めて開催しました。大津支部 15 名・他 3 支部合計 24 名の参加を頂き、各支部 1 名ずつの 4 名 10 組で実施。支部間交流もでき楽しくプレーできました。優勝は河村さん、2 位山崎さん、3 位進藤さん。1 位チーム（後藤さん・石川さん・山本さん・山崎さん）の混成チーム



#### ハイキング（第 1 回研修部主催合同）

第 2 回ハイキング 遣隋使小野妹子ふるさと散歩コース（11/24 20 名参加）。湖西線小野駅～和邇駅一帯の小野妹子ゆかりの地を地元在住の湖西地域の大野光夫さんと地元ガイド 1 名の方の案内を頂き歩きました。歴史を知り尽くした地元大野さんのガイド（出身は岐阜高山だそうです）に、まるで小野妹子時代に戻った様な錯覚を覚えました。



#### 第 1 回室内スポーツ大会（6/26 皇子が丘体育館 24 名参加）

5 組に別れチーム対抗戦で実施。競技は①ビーンボーリング②ダーツ③クロリテイ④ストライクアウトの 4 種目。機材は全てレイ大所有の遊具を無料で借用しました。少しの運動で悲鳴を上げている人、もの足りない方もおられた様です。夏の梅雨時にクーラーの効いた室内での軽い運動は快適とも。優勝は C チーム（多数なので氏名は略）。



#### ピンポンで遊ぼうよ大会（8/25 皇子が丘体育館 29 名参加）

知名度向上委員会の要請で、会員・一般の方に参加して頂き大津支部の活動を理解して頂く目的で開催しました。大津支部会員 16 名と他支部・一般の方 13 名で実施出来ました。温泉ピンポン程度を予想していましたが、卓球レベルの大会参加可能者から、温泉ピンポンを昔にした事がある程度の方までが一緒にピンポンを楽しみ楽しい交わりの場になりました。（健康部会：久保和巳）





# 「文化部会」 2023 年度の総括 ～趣味をふかめて たのしく学ぼう！～

## 1. 市民陶芸体験講座

2023.5.12 参加者 23 名（内公募 13 名）講師 10 名  
2023.10.6 参加者 24 名（全員公募）講師 10 名  
2 回とも釉薬が豊富なおかげで受け取りに来てもらった参加者からは「感動、満足」の喜びの声が上がり大変人気の高い講座が継続されています。



## 2. 作品展

期日：2023 年 10 月 12 日（木）～14 日（土）  
場所：大津市生涯学習センター1 階ギャラリー  
作品：出品者数 29 名 及び団体 3 サークル  
作品総数 148 作品（去年は 105 作品）  
見学者数：203 名（去年は 209 名）  
所見：初めての出品として盆栽と苔玉、および大津絵があった。盆栽と苔玉は奥のテーブルに、大津絵は入り口外壁に配置したが、両方の作品があったため全体が格調高い作品展となった。

過去、長期間にわたりお世話を頂いた中野さんがお亡くなりになり、遺作品を折り紙で囲んで展示し、故人を偲んだ。



## 3. 平和堂関係展示会支援

アル・プラザ堅田 2023 年 5 月 29 日～6 月 1 日  
見学者 合計 934 人 作品 合計 203 点  
陶器販売合計 ¥24,500  
バルーンアート（5 月 30 日）30 人 対応者 3 名  
平和堂石山 2023 年 6 月 30 日～7 月 3 日  
見学者 合計 218 人 出品数 合計 136 点  
紙芝居上演 合計 27 人（親を除く）  
マジック上演 合計 36 人（親を除く）  
バルーンアート 合計 24 人（親を除く）

平和堂石山 2024 年 1 月 20 日～22 日  
見学者 合計 358 人（去年 7 月は 218 人）、  
作品数 合計 165 点（去年 7 月は 136 点）  
マジックと紙芝居見学者 合計 53 人



特にアル・プラザ堅田での来場者が多く、平和堂石山と合わせてこの展示会が知名度向上や入学募集に貢献していると思われる。その意味で今後とも継続していくことが大切と考えます。（文化部会：長 幸雄）



## 「研修部会」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～

### 1. 「絵画の見方について」の報告

12/7（木）に研修部会の教養講座を、滋賀県立美術館の主任学芸員平田健生氏を講師に招き草津キャンパス第一教室で26名（同窓会会員23名、45期在校生3名）の参加のもと開催致しました。パワーポイントを使い、和洋の名画を例に問答形式で「絵画の見方について」漠然と鑑賞するのではなく陰影、表情、構図や作品の物語を想像しながら、作家の隅々までの創意工夫を読み解くことが絵画鑑賞の醍醐味であることを教えて頂きました。

講義の後半は前半の応用である「絵合わせゲーム」を5名1組のグループに分かれて楽しみました。カードを繋ぐゲームですが、硬くなった頭脳を各人「活性化」できたのではと思っています。講座は午前中に終わり、受講者の中には早速、県立美術館におもむき絵画などを鑑賞された方もおられたようでした。ご参加して頂きました会員の皆様ありがとうございました。



【問答形式での講義】



【講義後の集合写真】

### 2. 研修部会の活動と今後について

令和5年度の最後の活動として3/26（火）に「ノルディックウォーキング体験教室」を予定しております。春の行楽に向けてなまの心身を目覚めさせるのも一考かと思えます。今年度は4月高島市安曇川地区の合同ハイキング、10月彦根地方气象台見学、12月県立美術館主任学芸員の講演と会員の皆様にご参加頂きありがとうございました。ノルディックウォーキング体験教室の準備のほか来年度活動についても進めて参ります。来年度も会員の皆様、よろしくお願い致します。（研修部会：本郷芳紀）



【高島市安曇川合同ハイキング】



【彦根地方气象台見学会】



【ノルディックウォーキング体験教室】（参考写真）



## 「地域活動部会」

～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～

1. 2023年4月1日～2024年3月10日までの小学校支援活動実績、まちなか支援活動実績は、P9の実績表をご覧ください。

### 2. 11月～3月10日の地域活動報告

#### (1)「建部大社」剪定・清掃ボランティア

11月28日（火）13：30～15：30 13名

場所：建部大社 境内庭園 参道

参集殿の通路沿いの植込みの刈込み、剪定。庭園のドウダンツツジの徒長枝の剪定は苔を踏まない様慎重に実施した。ゴミ20袋

#### (2)「市民ヨシ刈り」(堅田)

12月3日（日） 9：00～10：30 10名

場所：琵琶湖大橋・道の駅米プラザの湖岸ヨシ群生地

今年は全て刈り払い機にて行い、運搬の作業が主であった。鎌を使わない作業だったので物足りなさを感じた。

#### (3)「市民ヨシ刈り」(雄琴)

1月28日（日） 9：00～10：00 14名

場所：アクティバ琵琶裏手の湖岸ヨシ群生地

今年は雪も無く、好天で地元の中学生、各団体から例年より多くの参加者があった。刈り払い機は1台も無く、全て手鎌で作業し、作業後は達成感があった。

#### (4)「市民ヨシ刈り」(下阪本)

2月3日（土）9：00～10：00 4名

場所：唐崎 四ツ谷公園湖岸ヨシ群生地

執行役員会と日が重なったので参加者が4名と少なく寂しかったが今後もレイカ大津として参加継続をする。

#### (5)「びわ湖マラソン2024」

3月10日（日）6：00～9：30

第2回目のシティマラソンに早朝から51名が参加した。

小雪が舞う生憎の天気であったが、スタート時点は天気が回復して絶好のマラソン日和となった。

参加者目標50名が達成できて良かった。来年は支部会員の20%、60名の参加を目標にする。早朝から、大変寒いなか大変お疲れ様でした。

##### ①スタート会場エリア（皇子山陸上競技場周辺）：25名

選手誘導、トイレ誘導、手荷物預かり、救護、更衣室管理

##### ②コース（大津市内エリア）：26名

コース整理員（給水・給食）

（地域活動部会：大野光男）





# 小学校支援活動および まちなか支援活動実績表

## 小学校支援活動実績表(2023年4月1日～2024年3月10日)

地域	支援項目	学校名	回数	参加者数	内在校生	内協力者	延作業時間
湖西	校庭美化	木戸小、仰木の里小、仰木の里東小、仰木小、真野北小、真野小、坂本小、志賀小、堅田小、小松小、小野小、雄琴小、伊香立小、日吉台小、和邇小、唐崎小、真野北児童クラブ	34	257	10	27	480.2
	図書整理	仰木の里小	0	0	0	0	0.0
	校庭花づくり	小松小、木戸小、真野北小、真野小、堅田小、和邇小、小野小、伊香立小、仰木小、仰木の里小、仰木の里東小、雄琴小、日吉台小、坂本小、下阪本小、唐崎小、志賀小、堅田幼稚園、真野北児童クラブ	49	58	1	6	126.5
湖西地域合計			83	315	11	33	606.7
中央	校庭美化	長等小、逢坂小	4	45	2	0	93.3
	図書整理	平野小	10	55	11	6	61.0
	校庭花づくり	平野小、長等小、逢坂小、中央小	13	13	0	0	31.3
中央地域合計			27	113	13	6	185.6
石山	校庭美化	南郷小、石山小、青山小、晴嵐小、南郷幼稚園、田上幼稚園、大石幼稚園	14	163	14	13	332.7
	校庭花づくり	南郷小、石山小	8	8	0	0	20.0
	昔遊び授業	南郷幼稚園	1	12	0	0	24.0
石山地域合計			23	183	14	13	376.7
瀬田	校庭美化	瀬田小、瀬田南小、瀬田東小、瀬田北小、瀬田幼稚園、瀬田北幼稚園	13	153	6	6	271.3
	校庭花づくり	瀬田東小	20	106	5	32	133.4
	縫製授業応援	瀬田東小	51	154	18	11	265.7
	図書整理	瀬田南小、瀬田北小	45	235	30	63	245.2
瀬田地域合計			129	648	59	112	915.6
大津支部 小学校支援活動 総合計			262	1,259	97	164	2084.6

## まちなか支援活動実績(2023年4月1日～2024年3月10日)

支援項目	回数	参加者数	内在校生	内協力者	延作業時間
境内美化(建部大社)ボランティア	1	13	0	2	26.0
スポーツボランティア「びわ湖マラソン2024」	1	51	3	1	192.5
平和堂店頭学生募集支援活動	29	125	15	0	150.2
瀬田川一斉清掃(クリーン作戦)	1	15	0	0	15.0
真野浜水泳場一斉清掃(レイカディア同窓会の日)	1	20	0	0	15.0
湖岸ヨシ刈り(琵琶湖大橋・アクティバ琵琶・四ツ谷公園)	3	28	0	3	33.0
大津祭 支援ボランティア	7	30	0	5	204.5
大津っ子祭り	2	18	0	1	88.5
大津社協支援(火花翌朝清掃、絆まつり)	2	13	0	0	11.3
陶芸体験講座	1	10	0	0	55.0
平和堂作品展監視員&滋賀県レイカディア美術展監視員	12	179	8	9	462.5
大津支部 まちなか支援活動 総合計	60	502	26	21	1253.5

## 活動風景



これらの活動は、セブン-イレブン記念財団の助成金を受けています。

レイカディア大津の活動の輪を広げて、もっと多くの地域の方が一緒に参加していただけることを目指しています。

連絡先：大津支部長 藤田順一

☎090-7115-7012



## 事務局からのお知らせ

### ◆執行役員会と役員会等の日程

3月28日(木)	役員会	9時30分～	レイカディア大学 大教室
4月18日(木)	定期総会	13時30分～	レイカディア大学 大教室
5月10日(金)	執行役員会	9時30分～	生涯学習センター303号室
5月13日(月)	本部定期総会	13時30分～	レイカディア大学 大教室
5月21日(火)	役員会	9時30分～	生涯学習センター視聴覚室
6月5日(水)	執行役員会	9時30分～	生涯学習センター303号室
6月25日(火)	役員会	9時30分～	生涯学習センター視聴覚室

### ◆今後の行事予定

小学校(31校)の卒業式・入学式の花鉢提供 3月15日(金)卒業式、4月5日(金)入学式  
イキイキふれあい祭り・アル・プラザ堅田 春休み 4月2日(火)～4月4日(木)  
イキイキふれあい祭り・平和堂石山 6月21日(金)～24日(月)  
第40回大津っ子まつり 2024年5月19日(日) 大津市皇子が丘公園一帯  
(延期の場合は 5月26日(日))

### ◆Walatte(わらって)2月号に「にこにこサークル」が紹介

地域で頑張る人たちの応援マガジン「Walatte2月号」(エールコーポレーション(株)発行のミニコミ誌)に会長の宮川陽次さんと一緒に活動されている瀬田地域の河村良一さん(知名度向上委員長)のインタビュー記事が掲載されました。

「障がい者の健康作りとして」と題して、におの浜スポーツセンターで障がい者の皆さんが卓球を通じて心身の健康や生きがいづくり、コミュニケーションの場を作っておられる様子が紹介されました。

また、同じ号の「Walatteの輪」のページには2年前の2022年6月号に掲載された「知名度向上委員会」のその後の活動についてのインタビュー記事が紹介されました。



障がい者の健康作りとして。

Walatte No.161

「にこにこサークル」

大津市におの浜ふれあいスポーツセンターで卓球をされているサークルです。障がいのある方が集まり、楽しく会話をしたり軽い運動を行うことで、心身の健康増進を目的として発足されました。また、卓球を通じて生活の張り合いや生きがいに繋がったり、友達作りの場や悩み相談などをするコミュニケーションの場にもなっています。



かわむらりょういち 河村 良一さん  
みやがわ ようじ 会長宮川 陽次さん



## 2023 年度 知名度向上委員会活動について

知名度向上委員長 河村 良一

知名度向上委員会活動は毎月大津支部役員会の後に、知名度向上委員会メンバー・各地域副支部長・5部会長の皆さんで以下の活動の協議をしています。

- ① 外部団体との協働—大津市役所、社協、龍谷大学
- ② 活動の見える化—各種展示会・イベントの協力・支援
- ③ 新規の試み—大津っ子祭り、市長ミーティング、新しいイベント発掘（健康部会ピンポンで遊ぼうよ）

皆さんで委員会活動に協力頂いたお陰で 2023 年度として知名度向上は進んできたと考えています。大津支部退会者の抑止そしてレイカディア大学学生募集の定員オーバーとなっています。今後も各種活動を行いながら知名度向上に貢献していきたいと考えています。

### 1. 外部団体との協働—大津市役所、社協、龍谷大学について

大津市役所、社協とは継続的に交渉を行っていますが、効果はいま一つの状態です。今後も更なる交渉を継続しながら効果を出していきたいと思っています。龍谷大学との協働については本年は更に進捗がありました。

コミュニティー論の授業ボランティアを対面中心に行いました。学生さんとの議論をしながら大津支部での活動に関する問題（小学校美化活動で一般市民の方の参加、大津支部退会者の抑止、他支部との温度差の解消等々）に関しても解決の糸口になる意見も頂きました。

学生さんが360名強コミュニティー論に参加していますので授業ボランティアも大変でした。2024年1月で授業を終え、2023年度の授業は完結しました。以下授業風景



### 2. 龍谷大学でのワークショップの開催

2023年度は学生さんから ZOOM、インスタグラム、携帯での写真撮影技術、ツイッター（現在の X）を学び、1月18日にその集大成として

- （1）大津支部としての情報伝達技術としてインスタグラムで公式アカウントを持つ事。
- （2）スマホでの写真の整理、加工、編集を学ぶ。

今後の大津支部の SNS 普及や高齢者のスマホ写真技術の向上に大いに役立つと考えています。

学生さん26名から大津支部参加者7名に対してじっくり指導して頂いた。全て学生さんの考えでストーリーを構築し、大津支部高齢者の SNS 講習並びにスマホ教室であった。

2024年度は現在9月ごろから授業が開催されるので、授業ボランティアの継続並びにワークショップは開催予定になっています。ワークショップ内容は学生さんに考えて頂けます。





全体写真



携帯習熟チーム



公式アカウントチーム

### 3. タイムリーに情報伝達

このワークショップでの集大成として、大津支部の活動をもっとタイムリーに発信する方法としてSNSツールの1つである Instagram(インスタグラム)を使ってタイムリーに情報伝達をすれば参加していないメンバーも即座にイベント内容を理解し共有可能と思われるので広報部会、知名度向上委員会共同で情報発信のパワーアップを2月度執行委員会に提案した。

今後推進計画、情報伝達のメンバーの範囲等々を見極めながら5月頃に支部内の審議提案として具現化を進めたい。

支部メンバーにはイベント参加を促していくが、都合により参加できない方に情報伝達の敏速化を試みる上で重要なテーマと考え取り組んでゆきたい。情報発信はイベント終了後即日もしくは一日遅れを目指し発信してゆきたい。

## 会員文芸 俳句

(二十七期 文芸)  
平野 鵜飼俊彦

うすもの  
羅や女将すらりと風を着て  
炎天や竹輿揺られ白帝城(中国にて)  
禅堂や足裏あうらに伝ふ梅雨湿り

(二十九期 文芸)  
兼題 「風光る」 「当季雑詠」

瀨田 大坪石山  
風光る石山寺の源氏の間  
神佛おわさぬ能登や春はそこ

比叡 岡田一也  
一途なる旅の自転車風光る  
遠山に落ちる冬日を見放せり

石山 久保貞邦  
福招く笛鉦太鼓風光る  
坊さんも英語でジョーク水温む

瀨田 勝田幸川  
風光る子ども園から無垢の声  
友想ふ加えて恋し花菜漬

精力的に、地域ボランティア活動および自己研鑽に励んでおられる  
中堅同窓会員 清田 輝夫氏へのインタビュー

清田輝夫さんは、39期びわこ環境卒の卒業後、地域のボランティア活動および、新たな学びに向けての自己研鑽に日々邁進されています。今回はぜひ、日ごろの想いを披露していただき、新入会員への新たな活動参加への一助とならんことを想い、インタビューさせていただきました。

全ての始まりは、55歳で青山地区に引っ越して来た時。知らない地での知り合い作りの思いで里山保全活動を行っている「牟礼山森林クラブ」に入会。現在、草刈り、植栽の剪定や桜等の植樹を行っている。また、レイ大卒業後は課題学習でのテーマであった「琵琶湖に生息する海浜植物の分布調査」の延長としてびわ環メンバー7名で「海浜植物守りたい」を結成。琵琶湖博物館の「はしかけ」制度に登録し、担当学芸員から指導を受けながら、主にびわ湖新海浜(彦根市)で、ハマエンドウを如何に増やせるか生育環境の調査や外来種の除草をしている。



清田 輝夫さん

また、39期びわこ環境の仲間たちと、「地球市民の森」の森づくりサポーター活動やLBK39と称するウォーキング活動で滋賀県下の名所旧跡を歩き回っている。39期のびわこ環境の仲間たちとは、月2-3回は顔をあわせている。同期の絆は深い。他には、町内の花壇の手入れ、そしてレイカ大津の地域活動への参加。また、元来、山歩きも含め、自然に触れ合うことに喜びを感じるので、近郊の低山歩きもしている。今年から新たに、京都から大津三井寺への如意古道整備へも参加するつもりでいる。・・・との現況の活動域を語っていただいた。

また、力強く自身の想いとして、「まずは、健康維持に努め、つまるところ健康第一ですね。また、知識を深めて少しでも長く貢献できれば。」そして、「たくさん人と、関わりながら、楽しく元気で過ごしましょうよ。」・・・それから、もっとたくさん同窓会入会者が、いろんなイベントに参加していただくためには何が必要でしょうか?の問いに・・・「一歩を踏み出すのに戸惑いがあるのでは?踏み出すための声かけ、一緒にどうですか?背中を押してあげる勇気。気の合う仲間の輪を広げましょう。<声掛け、仲間の輪>でしようね。」・・・と。本当にそうですね。ありがとうございました。(広報部会：小篠伸二)



新海浜で活動する清田さん



### 【わが町唐崎地区の歴史】米軍の大津水耕栽培農場

山崎 由弘 (38期 陶芸・唐崎)

「かけはし 73 号」の投稿【わが町唐崎地区の歴史「滋賀海軍航空隊」】で、戦時中に施設が置かれた唐崎に、終戦後に米軍(進駐軍)が跡地利用で大津農場を建設されたことをお伝えしました。

現在の J R 湖西線唐崎駅東側に、米軍第 8 軍が大津農場に約 54 ヘクタールを接收して、水耕栽培用に約 10 ヘクタールの土地が昭和 21 年～31 年の 10 年間設置されました。米軍の食料は基本的には本国から缶詰等で運ばれましたが、生鮮野菜を供給出来る手段として水耕栽培を現地にて衛生的に作物を栽培して生鮮野菜を配給する為に、ここ唐崎で新鮮野菜を栽培して西日本一帯の米軍基地へと出荷しました。大津の米軍接收施設に、旧琵琶湖ホテル・現在の県庁舎会議棟・大津と滋賀の海軍航空隊(現:陸上自衛隊大津駐屯地)・大津陸軍少年飛行兵学校等があり、また米軍家族の皇子山ハイツが新築され、米兵の食料として生鮮野菜が配給され食されました。(日本人は人間の排泄物である尿尿を土壌栽培の肥料としましたが、欧米人には免疫がありません)

滋賀県と進駐軍との渉外関係に関わる公文書として、農場の建設や物資調達・労働管理に関する資料の中に、施工は竹中工務店との契約書(滋賀化学農園工事)や設計図書が残り、管理はタキイ種苗が運営し、軍施設の運用に必要な物資の調達や労務管理は G H Q のオーダーで公法人である特別調達庁が行い、その実務を滋賀県が担うと記されています。

野菜は洗浄され農場のすぐ脇を通る江若鉄道(現在の高架上 J R 湖西線)の水耕農場前駅の引込線から西日本一帯の米軍基地へと出荷され、農場内では最盛期には日本人約 500 人が働きました。この水耕栽培は、西側の高台より琵琶湖側へ段状のコンクリート槽に砂利をトラックや鉄道で搬入し敷詰め、上部のタンクよりポンプを用いて化学肥料の水溶液を流し込む当時としては大変珍しい工法でありましたが、その後役目を終え閉鎖され昭和 33 年に返還されました。朝鮮戦争の時点から野菜の需要が増えて土壌栽培も行われ、指導はタキイ種苗が行い、品種はきゅうり・トマト・レタス・ラディッシュ等で、品種も需要により変化しました。

一方、東日本の調布水耕農場は、昭和 16 年に陸軍の要請で東京府との共同で調布飛行場が設置され、戦時中は防空・訓練用の軍専用の飛行場として使用されました。戦後は米軍に接收され昭和 21 年に調布飛行場西側一帯で水耕栽培農場は約 22 ヘクタールの実用施設として世界最大級の調布水耕栽培農園を突貫工事で設置しました。これは、先に手がけた大津水耕農場を参考に約 2 倍の面積を有し、施工は間組、管理は米軍が運営で建設され、その後も拡充を続け、東日本一帯の米軍基地や部隊へと出荷されましたが、その後役目を終え閉鎖されて昭和 36 年に返還されました。このように水耕栽培農場施設は、日本の内地では滋賀(唐崎)と東京(調布)の 2 ヶ所にあったのです。

## 城より面白い「城下町」の魅力

佐々木 英人（43期 地域文化・膳所）

世の中に城好きな人は多く見られます。この大津同窓会にも、全国の城は全て回ったと言う人も中にはあるかもしれません。滋賀県においても現存12天守の一つである国宝・彦根城があり、中世からの城跡を含めると1,300を超える城があると言われていています。ご承知のようにレイカディア大学にもその城跡・城址を訪ねる「城郭探訪会」があり、私もそのメンバーの一人としてこの2年間県内のいろんな城跡を訪れ楽しく勉強させてもらいました。

さて、城郭探訪会のように城あるいは城跡・城址を訪ね歩くのも面白く楽しいのですが、その城を中心に形成される「城下町」、この城下町を訪ね歩く面白さは城以上である事を皆さんご存じでしょうか。

私は、レイカディア大学の課題学習のテーマに「近江における城下町」を挙げ、グループメンバーと共に県下における城下町を歩き・探索したことで、その面白さに改めて気づかされました。訪れた城下町（含城下町跡）は、「観音寺」「佐和山」「安土」「長浜」「近江八幡」「大津」「膳所」「彦根」の8城下町。城下町の痕跡がほとんど見られないところも中にはありましたが、文献を調べ古地図片手に現地を歩き往時を偲びつつ探索する面白さは、正に新発見でした。



古地図や資料を手に近江八幡城下町を探索

私たちが近江の城下町を探索し、勉強した点について折角ですので簡単に紹介します。

- ① 古来の「観音寺」「佐和山」の城下町は時代と共に徐々に形成され、一方戦略上築城された「長浜」「大津」「膳所」「近江八幡」「彦根」の城下町は移住者を中心に造られました。
- ② 移住者の町は職種別、旧居住地別の町割りが多く、また表は「通り」裏は「背割り排水」により町割り区分がされている所が多い。
- ③ 現在の市街地へと引き継がれている旧城下町は、移住者特に商人、職人中心の町づくりがなされたところが多く、武士、農民中心の城下町は廃城と共に町も廃れている・・・等々。

面白いところがたくさん発見できます。興味のある方は、レイカディア大学「第43期・課題学習報告書」を是非一読されることをお勧めします。

普段私たちが城下町を散策する場合、旧武家屋敷跡や古い町家など見学することが多いと思います。こうした形も十分城下町の雰囲気味わうことはできますが、ほんの少しの下調べと古地図を片手に探索するとより深くその城下町が味わえること請け合いです。



観音寺城址を望む旧城下町・石寺

最後に近江の城下町で余り知られていない情報を一つ提供して筆を置きます。江戸時代の「遊郭」、東京の“吉原”長崎の“丸山”などが有名ではありますが当然近江にも遊郭がありました。それは「大津」「草津」「近江八幡」「彦根」「長浜」「日野」「八日市」の合計7か所にあったそうです。意外に多いと思いませんか？



## 私の趣味「ランニング」

西田 一夫 (41期 地域文化・晴嵐)

私が取り組んでいる雑多な趣味の中で、一番打ち込んでいるのが「ランニング」です。始めたのは、40歳でタバコを止めた時、口が寂しく、食べる事や飲酒に没頭し、体重、胴回り、コレステロール値等が、異常になり健康診断で指摘を受けた事でした。医師から「大変です、何か運動をなささい」と言われ、頭に浮かんだのは、遙か昔、高校生時代に陸上競技部に所属していた事、一人でトレーニングが出来る事、設備が要らない事等から「ランニング」でした。

いざ始めてみると、若い頃と違い、90キロにもなる体重では100mすら走る事は出来ません。息が出来ないくらい苦しい状態で、若い頃の記憶だけで「走れるはずだ」と思っている事が間違いだと分かったのです。そのくやしさを晴らそうと、毎朝、当時の住まい、米国NJ州のワンプロック（日本で、町の1丁目分くらい）を走り、シャワーを浴びてNYへ出勤するという生活です。これを1か月は続け、翌月は2ブロック、その翌月は3ブロックと伸ばしていきました。1年以上も続けて、毎朝走る事が習慣になり、10キロ以上走る事も出来る様になりました。それが毎朝のルーティーンになり、荒天で走れない時は寂しいと感じていました。そして、2年後、NYマラソンの参加者募集広告が目についたのです。フルマラソンです。走り切れるか不安でしたが、チャレンジしたい気持ちと共に、練習にも熱が入ってきて、週末には20~30kmの長距離練習もやりました。そして、ついにNYマラソンに参加したのです。42.195kmの最後はセントラルパークでした。大勢が人垣を作り、ランナーを拍手と歓声で迎えてくれました。4時間台後半の記録でしたが、ゴールした時の感激は今でも忘れられません。涙がこぼれて止まりませんでした。以後、30年以上、他の国へ転勤後も、様々な距離、大会へ参加し、日頃のランニングも継続し、ホノルル、香港等、また国内でも近隣府県の大会にも参加してきました。滋賀県内でも、「あいの土山マラソン」は多くがハーフですが、10回以上、10~20kmマラソンでは、「彦根マラソン」他多くの大会にも参加しています。勿論、今年の「第1回びわ湖マラソン大会」にも参加しました。

この様に、30年以上も続けていますと、身体面では、人間ドック等でも、医師からの指摘は全くありませんし、体重も減量、B.M.Iも20以下になりました。そして、気持ちの面では、走る事が嬉しいのです。既に後期高齢者ですが、足腰に痛みを感じないで走れる事の嬉しさ、喜びを感じられるのです。その上、アドレナリンの分泌で、およそ10kmを超える頃から、ワクワク感が沸いてくるのです。この様に、今の私にとり、ランニングは喜びであり、趣味の中の大きな存在で、生活の中で欠かす事が出来ないものなのです。

最近の私は、健康である限り、80歳を超える迄もフルマラソンが続けられる自分でありたいと思っています。



## 私のボランティア活動 - 南大萱資料室のこと

高木 貞子 (42期 びわ湖環境・瀬田北)

瀬田駅を降りて琵琶湖側に進むと、ほどなくレンガ色の大きな建物が現れます。煙出しの小屋根がある古い家屋が多く残るこの地区ではかなり個性的です。「南大萱資料室」はこの南大萱会館の3階にあり、南大萱の歴史的な資料の保存・管理・収集・紹介をするボランティア活動を行っています。メンバーは10人余りでレイカディア大学の卒業生が半数余りを占めています。南大萱は湖岸から龍谷大学学舎東の山地までの4平方キロメートルほどの地域で、奈良・京都に近く、水運に恵まれ、多くの貴重な遺跡が残っているのです。

活動の中心は、大津市指定文化財の「瀬田国民学校5年智組」の学級日誌の展示を中心とした「戦争の記憶展」(今年は8月3日・4日、瀬田北市民センター)の開催と瀬田北学区の文化祭での地域紹介の企画展示です。日常的なものとしては、博物館等への資料の貸し出しがあります。現在、大津市埋蔵文化財調査センターでは一里山にある山ノ神遺跡(国の史跡)から出土した鷗尾しび(復元したものは重文)の模型が展示されています。また、米原市伊吹山文化資料館からは源内峠遺跡の製鉄炉模型の借入依頼が入っています。

神戸から転居してきた私は、大萱をもっと知りたいという思いから参加しました。古文書も読めなければ、考古学に詳しいわけでもありませんが、先輩方の後について勉強を重ね、楽しく充実した時間を過ごしています。毎回新しい発見があり、出会いが待っているのです。毎週月曜日の午前中に活動していますが、今回大津市の教育委員会生涯学習課から「大津人実践講座」にお誘いがあったとの報告がありました。地域を知ることが地域を作ることにつながり、新旧住民の一体感が醸し出されることに微力ながら協力できたらと思っています。

この2枚の写真についてご紹介しましょう。

1枚目は山ノ神遺跡から出土した鷗尾しびの模型です。鷗尾は寺院の屋根の両端の飾りで、7世紀中ごろに操業が開始された須恵器の窯に残された失敗作ということです。失敗したからこそ、ここに残っていたと思うと何とも不思議な気がしませんか。

2枚目は天理市の黒塚古墳から出土した三角縁四神四獣鏡です。これと同じ型から作られた兄弟鏡が南大萱から出土しています。昔、教科書で見た鏡の一枚がここから出たとはちょっとビックリ。実物は東京国立博物館所蔵ですが、レプリカを作って子どもたちに重さや手触りを感じてもらいたいと考えています。

最後になりましたが、2014年NHKスペシャルにも取り上げられた学級日誌を是非、見にいらしてください。



写真1

山ノ神遺跡から出土した鷗尾しびの模型



写真2

黒塚古墳から出土した三角縁四神四獣鏡



## 学科見学会・学科説明会

学科別の授業(選択講座)を見学できます。(※ 実習の体験はできません)

【学科見学会】10:30～11:00 【学科説明会】11:00～11:45 【定員】(各日)20名

参加費  
無料

草津キャンパス

(受付:10:15～ 1階事務室で受付)

申込番号	見学会	学科	テーマ(予定)	講師
K-3	5月15日(水)	園芸	果樹と野菜の栽培管理	元滋賀県立八日市南高等学校教諭 松原 治夫
K-4	6月3日(月)		樹木の夏期剪定実習	樹木医 平塚 英史
K-5	6月12日(水)		花壇づくり	フラワーアレンジメント講師 水島 たず子
K-6	5月14日(火)	陶芸	【作陶】鉢(応用)	陶芸家 灘 さとみ
K-7	6月10日(月)		【施釉・焼成】素焼き窯出し・施釉・窯詰	陶芸家 灘 さとみ
K-8	7月17日(水)		【作陶】特殊な形状の制作 (手びねりによる大型の作品)	陶芸家 岡田 勲
K-9	5月8日(水)	びわこ環境	[知る]琵琶湖の生態学	滋賀大学教授 石川 俊之
K-10	6月19日(水)		[学ぶ]風呂敷再発見	日本風呂敷協会 西澤 良子
K-11	7月10日(水)		[学ぶ]滋賀県版レッドデータブックから ～減少する動植物と増大する外来種～	株式会社ラーゴ 西川 博章
K-12	5月21日(火)	地域文化	明智光秀と坂本城	滋賀県文化財保護課 松下 浩
K-13	6月18日(火)		織田信長と近江の武将 ～当国一乱 信長以前の近江～	元東近江市史編纂室長 山本 一博
K-14	6月25日(火)		地域学 湖東焼きの盛衰と美	柏原宿歴史館長 谷口 徹
K-15	5月28日(火)	健康づくり	健康と運動 講義:運動処方とその進め方	滋賀県立大学名誉教授 寄本 明
K-16	6月24日(月)		健康とヨガII(実技) 健康寿命をのばそう	ヨガインストラクター 頼角 紀子
K-17	7月1日(月)		健康と運動(実技) 健康寿命の延伸 (3)高齢期の体力・認知症 コグニサイズ	健康運動指導士 井花 春美

## 公開講座・大学説明会

全学生が受講する基礎講座を公開します。在学生と一緒に体験的に授業を受講できます。

草津キャンパス

県立長寿社会福祉センター 大教室(草津市笠山7丁目8-138) 【定員30名】

申込番号	公開日	時間	テーマ(予定)	大学説明会
K-1	6月21日(金) 【受付】9:30～	10:00～12:00	人生に期待されて生きる 講師:児童文学作家 今関 信子	12:10～13:00
K-2	7月5日(金) 【受付】12:30～	13:00～15:00	『源氏物語』と紫式部と近江 講師:近江の文学研究者 いかい ゆり子	15:10～16:00

問い合わせ先

〒525-0072 草津市笠山7丁目8-138  
レイカディア大学事務局(県立長寿社会福祉センター内)  
TEL:077-567-3901 FAX:077-567-3906  
メール:leidai-kusa@shigashakyo.jp

### 1 入学資格

- 県内に居住し、2024年10月1日現在において60歳以上の方
- 大学設置の趣旨（地域の担い手として活動すること）を理解し、地域において積極的に活動を行っている方、または行おうとしている方で、卒業後、学習の成果を活かした地域活動等に意欲がある方
- 通学および各種講義に出席できる健康を有する方（学科により軽度の運動や山城歩きやまち歩きなどの校外学習があります。）

### リカレントコース

（左記に加え、下記の要件も必要です。）

- 卒業後1年以上経過された方（第43期生まで）
- 卒業学科への応募（入学）はできません。  
※ 地域文化学科（草津キャンパス）と北近江文化学科（彦根キャンパス）は同一学科とみなします。

### 2 学科別募集定員、修業年限

学 科	定 員(人)	
	草津キャンパス	彦根キャンパス
園 芸 学 科	50	30
陶 芸 学 科	25	—
びわこ環境学科	25	—
地域文化学科	25	—
北近江文化学科	—	20
健康づくり学科	20	20
計	145	70

- 学習期間 2年（2024年10月～2026年9月）
- 講座時間 1日4時間（10時～12時、13時～15時）
- 登 校 日 楽しく豊かに生きるための基礎講座・選択講座を合わせて月5～6日

### 3 授業料等

- 各学年 前期・後期各25,000円（年間50,000円）
- 一旦納付された授業料は、理由の如何にかかわらず返還しません。
- 学習に要する教材費、傷害保険料、見学・研修の経費および自主活動に要する経費等は学生の自己負担となります。（年間2万円～5万円程度が必要です。金額は学年・学科により異なります。）

- 受講方法が選択でき、授業料は次のとおりです

受講方法		授業料
①	基礎講座・ 選択講座 両方受講	前期・後期 各20,000円（年間40,000円）
②	選択講座 のみ受講	前期・後期 各15,000円（年間30,000円）

### 4 出願手続き

#### (1) 入学願書の提出

次の書類を滋賀県レイカディア大学に送付してください。〔持参可〕

- ① 滋賀県レイカディア大学入学願書（様式1）
- ② お尋ね票（願書裏面の様式2）

〔送付先〕 滋賀県レイカディア大学 「入学願書在中」  
草津キャンパスまたは彦根キャンパス

※入学願書等は「びわこシニアネット(<https://www.e-biwako.jp>)」からもダウンロードできます。

#### (2) 募集期間（入学願書受付期間）

2024年6月3日（月）から7月31日（水）まで（必着）

### リカレントコース [入学願書]

- 「滋賀県レイカディア大学リカレントコース入学願書（様式1）」のみ  
※願書は、電話での請求またはホームページから入手してください。

### 5 入学の決定

- 入学資格を満たした応募者が定員を上回った学科は、新規入学者を優先し、公開抽選を行うことがあります。
- 公開抽選で入学とならなかった場合は、第2希望の学科への入学について本人に意向確認をします。（定員に満たない学科がある場合のみ）  
なお公開抽選後、辞退者が出た場合は、抽選に漏れた方が第1希望学科の入学対象者になる場合があります。
- 募集期間を過ぎた時点での入学志望キャンパス・学科の変更はできません。
- 入学に関する通知は、9月上旬までにご本人あてに書面にて通知します。
- 入学の通知後、指定期日までに授業料の納付がない場合は、入学辞退とみなします。
- 入学後は、他学科や他キャンパスへの所属変更および受講はできません。
- 応募が定員に大きく満たない学科は、開講されないことがあります。



## 会員動向

大津支部会員数 **311名**【湖西69、中央63、石山90、瀬田89】（2月29日現在）

### 訃報

岩田 隆様（36期地文・瀬田一里山）が12月4日に逝去されました。満83歳でした。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

## 『かけはし』への投稿について

会報誌『かけはし』は年4回（2023年度は3回）発行しており、次号（84号）の発行は6月下旬です。

投稿の要領は下記の通りです。

- ・内容は支部全体の活動、各部会の活動報告、各地域の活動などです。
- ・なお、誌面構成の関係上、自主的に投稿される方は事前に広報部会長にその旨をメールでお知らせ願います。
- ・原稿の文字数は印刷1ページあたり1,200字以内(図表を含む)を厳守して下さい。
- ・原稿締め切りは6月10日(厳守)です。

《原稿送付先》自筆・ワープロ印刷原稿は郵送で、それ以外はメール添付で

中村 登宛 nob1104n@yahoo.co.jp

〒520-2141 大津市大江5丁目31-20

## 編集後記

コロナ騒動はなんとか一段落し、同窓会活動も約3年ぶりにほぼ復活いたしました。みなさまには、お元気でお過ごしのことと思います。

『かけはし』のカラー化もすっかり定着し、さらに読みやすく、役に立つ紙面の編集に努力を続けています。会員のみなさまには、『かけはし』を熟読していただき、いろいろご意見をお寄せいただければ幸いです。

【訂正とお詫び】「かけはし82号」の巻頭言で「志賀精林」と記載してしまいましたが、正しくは「志賀清林」の誤りでした。ここに訂正しお詫びいたします。

### 編集委員

藤田順一（志賀） 大口正勝（堅田） 福井かおる（唐崎） 大塚庸行（打出）  
釜淵佳明（膳所） 大平恭文・小篠伸二（晴嵐） 脇田 進・遠藤修一・河野安明（南郷）  
稲田伸子・中村 登（瀬田） 宮下康子（瀬田北） 中村健一郎（瀬田月輪）

「かけはし」へのご意見や投稿については、下記編集委員までお願いします。

中村 登 nob1104n@yahoo.co.jp

## レイカディア大学同窓会 大津支部会報『かけはし』83号

発行責任者 大津支部長 藤田 順一

編集責任者 広報部会長 中村健一郎

2024(令和6)年3月28日発行